

【小学校算数】

◇ 算数 A（知識）の平均正答率は 74.7% で、例えば、次のような課題が見られる。

○測定のために、計器を選択することについては相当数の児童ができて
いる。 [A 5 (1) 96.4%]

●単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること
[A 4 47.6%]

●合同な図形をかくために必要な条件を理解すること
[A 6 55.5%]

◇ 算数 B（活用）の平均正答率は 55.1% で、例えば、次のような課題が見られる。

●二つの数量の関係が比例の関係でないことを記述することに課題があり、特に、根拠となる数値を示して記述すること [B 2 (3) 29.4%]

●単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述すること [B 4 (1) 37.6%]